

学校名 : 学校法人開新学園 熊本工業専門学校

課程名・学科名 : 職業実践専門課程 自動車整備工学科・電気システム科・機械システム科

資料名 : 学校関係者評価結果公表資料

令和2年度学校関係者評価結果

1 令和2年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

建学の精神「創造・倫理・実践」を礎に、我が国、とりわけ郷土熊本の産業経済に貢献できる人間性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな「中堅技術者」を養成するとともに、留学生に対して日本語教育を通し、広く国際貢献への橋渡しを行う。

また、留学生との交流を通し、国際的に活躍できる技術者となるための感性を磨かせる。

2 学校関係者評価委員会

日時 令和3年2月 15:30～ 未実施（新型コロナウイルス感染防止のため）

会場 本校日本語科教室

(1) 教育理念・目標

3. 5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・社会のあらゆる分野で新型コロナウイルス感染への対応が優先される時代に入りました。教育界も大変です。貴校も組織の在り方全般において“平時”とは異なる困難に遭遇されていることと推察します。敢えてお尋ねします。貴校の構成員（学生と教職員）が、コロナ禍の中で共有すべき姿勢について、何か特別な議論をされましたか。・変えてはならないものと見直しが必要なものについて整理をしておくことが必要ではないか？・学校の理念・目的・将来像が掲げられているが、実態が分かりづらい。・理念、目標については素晴らしく、しっかり運営されていると思うが、外部への発信が少なく、特色の理解が難しい。・熊工専リニューアル計画等で取組んでいることをアウトプットとして評価して実行度を高めることが学校の魅力につながると思う。・自動車整備に関しては今後、EV や HEV、PHV などへ急速にシフトされることが予想されるため、それに合わせたカリキュラムの変更等が必要になると思われます。・理念・目標がはっきりしていて判りやすい。・SDGs が叫ばれる社会の変化に適切に対応すべく見直しが求められるのではないか？・メディアに取り上げてもらう。HPに積極的に掲載するなど学校を知ってもらい応援していただけるようにする。特に学校周辺エリアの住民から愛されることが必要。
-----------------	---

<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より「学生便覧」を作成し、全職員、全学生に配布し、学校の理念・目標・運営・学生の指針・学生の生活に係る事柄をまとめて提供し、周知徹底を図っている。この学生便覧の発行は毎年更新し継続している。 　なお、月の初めに全学生を対象に全校集会を開催し、その場で副学長から訓示を行っており、その場で人間としての生き方等について講話をし、社会人としての在り方について指導。 ・学校の理念・目標・運営・各学科の方針、特徴・資格取得への取り組み・カリキュラム等をA1版のパネルにまとめ、学校全体に係るものは玄関事務課の壁に、各科に関するものは科の実習室に展示し、学生の理解に努めている。また、オープンキャンパス時に活用している。 ・一昨年度「熊工専リニューアル計画」を策定し、学校運営、学生の確保、AI・ドローンおよびEV等の新技術分野への取り組み、留学生の確保及び日本語能力の向上等に対して積極的な活動を展開し学校活性化に結び付けてきた。ただし、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、AI及びドローンに係る取り組みが出来なかったため、新年度に向けて取り組む予定。
-----------	---

(2) 学校運営

3. 3

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目ウエオカについては確認できない。 ・評価項目“ウ～ク”が学外委員に見えにくい。学内理事に期待します。(昨年に同じ) ・学校運営の中で、組織の機能化と業務の効率化のためにはDXの推進も必要ではないか？ ・事業計画(課題に対する)や取り組みが分からない。コロナ禍において事業計画を見直す必要はないのか。 ・各種規定はHPに掲載するか、規定名称だけでも掲載すべき。教育活動は折に触れて新着コーナーに記載したらどうか。また、コロナ感染状況や対策が更新されていない。 ・一定の予算の中で積極的なICT機器の導入が求められる ・予算確保が重要な課題！ 助成金やコロナ対策補助金の利用なども検討？ ・評価が難しいですが、よくなされていると思います。
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度、江藤理事長から4月当初の第1回教官会議の場で、本校の歴史・財政基盤の脆弱性等を通して講話を予定。その中で、今後の本校の教育振興を踏まえた教育振興策についても触れる予定。全職員が一丸となって、この難局を打破する気概が必要と考えている。 ・本年度は、「熊工専リニューアル計画」の実践がされず、AI教育及びドローンについては新年度に向けて実施する予定。 ・財政的には学生数の減少から厳しい状況にはあるが、理事会を経て必要なAI機器や学生募積極的な広報活動(テレビ・新聞・YouTubeを活用)に予算を計上し、教育運営に寄与する財政支援を行ってきた。 ・HPの記事の更新については、新着コーナー等を通じて行っているが、未だ不十分な点も多く改善が必要と考えている。新年度、早急に検討する。

--	--

(3) 教育活動

3. 4

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育で評価すべきポイントの一つは、生徒・学生が“人生の登り勾配”を感じてくれることです。「通学が楽しい」、「生きていく術が身についているように感じる」、「授業の内容が理解できる」、「専門的な見聞知識が増えた」などなど、学生目線の“顧客満足度”を知る必要があると思います。ホームページに学生さんの声2, 3の引用はありますが。 ・学生と教職員共にモチベーションUPにつながる取組みが必要ではないかと思う。 ・コロナ禍で教育活動の支障(困難)もあっただろうと思う。 ・評価項目“ア”と“イ”は、大項目(1)“教育理念・目的”にまとめた方がすっきりしますが、如何でしょうか。項目“サ”と“シ”は、大項目(2)“学校運営”に入る項目ではないかと思います。ただし、従うべき学校評価の書式があるのであれば、上の意見は無視して下さい。 ・職員の研修や関連企業との情報交換においてもデジタル活用を検討 ・教職員のモチベーションが学生に対しても影響が強く、学校のイメージもよくなる。
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の項目については、文部科学省の所管事業「職業実践専門課程」に係る書式指定が有り変更は出来ませんので、ご容赦願います。 ・本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学校行事等が中止や延期、規模の縮小等、学生に対しても精神的な苦痛を与えることが多々あったと思う。新年度に向けては、本年度を参考に適切な対応が必要。

(4) 学修成果

3. 4

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPの就職率は2015.3末時点である。最新データ必要。文面中の「98, 7%」は要修正。 ・学校案内(パンフレット、SCHOOL GUIDE)の“100%就職率”は、PRの側面を考慮して、それはそれでよろしいと思います。ただしホームページでは、文字数を十分に使えるので、就職率や資格取得率については、首尾よくいった年度ばかりでなくうまくゆかなかつた年度にも触れるなどして、リアリティのある記述にしては如何でしょう。同窓会の組織化に必要性を感じるのであれば、在学時から学生諸君の雰囲気づくりを始める必要があると思います。 ・就職においてはコロナ禍での対応が大きな課題といえる。 ・卒業生の活躍をレポートにしてHPで多数発信して卒業生とつながりを強化することで学校支援などメリットは大きいと思う。 ・各種データの更新が望ましい。
------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業との積極的な情報交換が必要ではないか？ ・この“評価の大項目（４）学習成果”は、“大項目（３）教育活動”で一括した方がすっきりしますが、如何でしょうか。書式に従うのであれば、意見は取り下げです。 ・本校の将来を考え持続的経営には、卒業生からの支援を大事に考えることが必要。 ・就職率が良く素晴らしい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携については、各科とも毎年度、講師を招聘し現状の企業の在り方在り方等について講話等を実施している。さらに企業へ出向いての研修等も実施している。 ・新年度は、県内ディーラーに勤務の本校卒業生との意見交換会を企画したい。 これまで卒業生との懇談は、平成24年度に創立30周年記念事業時に実施して以来開催していない。上記に示すように県内に残っている卒業生が最も多いのが、自動車整備工学科なので、上記に示す意見交換会を通して自動車整備工学科の将来に向けた展望などについて話し合う場を設けたい。 ・就職に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響は僅かで、各科とも100パーセントの内定を頂いた。留学生についても、入管の審査が速やかに行われ、就労ビザ取得が全員行われ、これからの就職指導に弾みがつく。 ・各種データ更新について、ご指摘の通り行われていなかった。新年度に向けてHPの更新を全体的に行うようにしたい。

(5) 学生支援

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学生がコロナに感染した場合の学校の支援があれば記載すべき。留学生への米の提供はあったが、制度的な支援策があれば積極的にPRすべき。 ・学校にとって保護者と卒業生は文句なしの応援団員です。(対応と把握が重要。老婆心) ・コロナ禍での可能な学生支援を整理することが喫緊の課題と感じる。 ・社会人のニーズを踏まえた教育について、分からない。嫉妬的な教育は、入射の時に他校卒業生と比較されるので本人が辛い思いをしたい程度には必要。 ・留学生の割合が増加する中、支援体制の変化が求められてくると思いますので、面談等を含め、更なる支援体制の充実を、お願いします。 ・学生支援において的を絞って適切な対応を行うことが必要ではないか？
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は学生支援策として、校納金については支払いを弾力的に運営し、支払い期限を延長する等を行った。また、学校として留学生に対して米5キロを無償で配付した。 なお、国や県からの支援策に対して、留学生を中心に告知し、支援策を受けられるように対応した。 ・社会人としての有り様については、先に述べたように月1回の副学長による講話を通して行うとともに、各教科担任の授業の中等でも必要に応じて人間としての在り方について行っている。

(6) 教育環境

3. 1

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・防災に対する体制や備えが明示されていない。また、コロナ対策も明示すべき。・モノづくりの先端的な教育設備を学校のみで用意することは財政上難しい。これは学外にも知ってもらう必要があります。その上で、貴校は、学外から支援（実習、見学、講演など）を得て、学生に対して先進技術触れさせる努力をしています。そのことを大いにアピールすべきだと思います。・学外実習が実施できない場合の代替教育やリモートインターンシップなどの検討も今後の課題・熊本地震を経験しており、対外的に防災体制等をPRすべき。・リアルのみならずリモートでの教育が今後求められると思う。・外国から見ても、安心できる体制があると学校PRに活かせる。・防災体制とは別の感染症対策体制もコロナ禍においては求められるのでは？・施設・設備は老朽化しており、十分とは言えないが財務上難しい点もあり、上手く活用されている。今後は安全管理に注意を、お願いします。
回答	<p>・防災体制については、全学生に年度当初に配付している「学生便覧」の中に、本校規定の危機管理マニュアル（一部抜粋）を載せ、指針として指導している。</p> <p>コロナ対策については、全職員に示している対応指針について、上記「学生便覧」に載せたい。</p>

(7) 学生の受入れ募集

3. 3

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍での対応として今何ができるか検討することが急務と感じる。・県内の高校（工業高、普通高）と企業との関係強化を骨太にすることが必要。・よく募集活動をなされているが、まだ総体的に認知度が低く感じます。・リモートでの対応も施策として成果を得れると思う。・生徒募集には努力されていると拝察。・ホームページはうまく編集されていると思います。・ホームページにおいては4カ国語を表示する等とても良くなっており評価できる。更に改善するとすれば学生欄の充実（講師やスタッフの紹介、卒業生のコメントなど）
回答	<p>・本年度、江藤理事長の肝いりで積極的な広報活動（TKUテレビの活用、熊本日日新聞への掲載広告、ユーチューブの活用）を実施した。</p> <p>なお、新年度に向け上記広報活動の更なる進化策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度、フェイスブックを立ち上げたので、学生募集に活用したい。

(8) 財務

3. 3

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・財務状況の公開と資源の有効活用。・財源となる入学者の増加が急務である。・学生数を確保しなければ厳しい状況にあり、安定性に乏しいと思われます。しかし、厳しい中、よく運営されていると思います。・今は中長期的な視点での対応が求められる。・“学生の確保”ができれば、元気が出ると思います。項目の評価は私の知見を越えるので、パスします。(昨年同様)
回答	<p>・ご指摘のように学生募集が喫緊の課題で有り、広報活動を中心に本科への留学生の確保に向けた取り組みを推進したい。</p> <p>特に、留学生の在籍者に占める割合が半数を超え、その確保については、他県の日本語科を有する専門学校を定期的に訪問し、募集活動を推進している。</p>

(9) 法令等の遵守

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ネガティブな材料はないので評価を“3”としましたが、評価結果のフィードバックが見えません。(昨年と同じ)・外国人も多く多様性は高く評価されるが、文化の違いや知識差による差別やいじめへの予防策の充実が求められる。LGBT などにおける知識の共有は必要ではないか？
回答	<p>・法令遵守については、適宜、学生及び職員に対して副学長から訓示などを行い、高い意識とモラル高揚について示していく。</p>

(10) 社会貢献・地域貢献

3. 0

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・昨今、地域貢献活動が非常に大事になっている。(含むボランティア活動)・熊工専リニューアル計画等で取組んでいることをアウトプットとして評価して実行度を高めることが学校の魅力につながると思う。・学校のPRのためにも目に見える活動を、お願いします。・昨年、当委員会のある委員が「学校周辺の清掃をされているのを時々見かけ感動している」と教えてくれました。学生さんでしょうか。地味な活動ですが、素晴らしいことです。そのような活動を同僚の学生さん同志が称え合ってほしいものです。・コロナ禍での社会貢献活動として今は我慢の時期と理解している。・地域の評判(イメージ)は、募集人員確保に影響する。
回答	<p>・地域貢献として、年2回の学校周辺清掃活動も出来ず、新年度に向けて取り組みたい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、学校南側に植栽してある紫陽花（約120本）を地域の皆様に鑑賞して頂く機会を設け、県内テレビの2社に取材をして頂いた。新年度は、さらに充実した企画としたい。
--	--

(11) 国際交流

3.5

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・“コロナ禍のいま” と “ポストコロナ” に対する貴校の基本姿勢を陽に示すこと。これは重要であると思います。 ・海外渡航がコロナ制限により、現状としては厳しい時期と思わざるを得ない。 ・留学生の卒業後の状況が分からない。卒業後の活躍をHP等で発信など。 ・留学生の受け入れは今後増加し、主力をなすと考えられるので更なる幅広い受け入れ体制を整え、募集して欲しい。
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート授業の在り方についても検討の余地がある。ただし、財政的な支出が高額になることから厳しいと思う。 ・留学生の就職状況は、国内企業へ100パーセント就職しており、HP上に掲載するようにしたい。 ・留学生の募集活動については、学校全体の喫緊の課題として捉えており、適宜、取り組みの進捗状況については、教職員に発信していきたい。